



読字 原田 観

No. 841

2017/10/5

# 日中友好新聞

発行所

 日本中国友好協会  
 〒113-0033 東京都文京区  
 本郷1-1-1817201室

 日中友好協会  
 岡山支部

 〒713-8256  
 岡山市東区3-8-30-514  
 TEL:086(272)-3010  
 郵便番号1100  
 01250-0-3835

 日中友好協会  
 倉敷支部

 〒713-8911  
 倉敷市遊鳥中央1-8-4  
 (宮地方)  
 TEL/FAX:086(446)-2711

 日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rzhong.biz/>  
 メールアドレス  
 rzhong86@hotmail.co.jp


## 9・18 柳条湖事件86周年街頭宣伝

—中国脅威論に対抗して日本の戦争責任を考える—

日中友好協会倉敷支部 犬飼 繁

今日9月18日は、関東軍による満州侵略のきっかけとなった柳条湖事件が起きた日からちょうど86年になります。日本中国友好協会では、毎年7月7日の盧溝橋事件から9月18日の柳条湖事件までを「不再戦・平和友好期間」

と定め、全国各地で街頭宣伝や記念集会・学習会を開いています。日中友好協会岡山支部では、今年も盧溝橋事件が起きた7月7日に続き、9月18日に天満屋アリスの広場前で「柳条湖事件(満州事変)86周年」日中不再戦は憲法9条を生かす道」と

てある帽子をかぶって、元気によく通行人にビラを配っていました。マイクを持った小林事務局長、稲葉理事はビラの内容を中心に訴えました。ビラの受け取りはあまりよくありませんでした。山根さんは「歴史を知らないからなあ!」とつぶやきました。

書かれた横断幕と日本中国友好協会の旗を立てて街頭宣伝をしました。

参加者は竹内理事長、小林事務局長、理事の稲葉さん、今岡さん、河井さん、丸山さん、中国帰国者の山根さんと倉敷支部から私犬飼の計8人でした。

日本と中国、世界平和友好のために「など」と書かれたビラを約150枚配りました。

90歳の竹内理事長は「勿忘9・18」と書いて

けるようにして受け取ってくれない人も少なくない中、心が温かくなるような出来事でした。

## 2017年中国人殉難者追悼慰霊祭 賛同金4万8千円

先般おねがいしました「日中国交正常化45周年記念事業—2017年中国人殉難者追悼慰霊祭」の賛同金は、9月27日現在で4万8千円です。内訳は、日中岡山支部1万円、理事会1万円と個人から2万8千円です。ご案内の慰霊祭、歓迎会にぜひご参加ください。

記

2017年中国人殉難者追悼慰霊祭

とき 2017年10月14日(土)13時30分から16時

ところ 興楽山常光寺観音院(日比観音院)

玉野市日比2-1-12 TEL:(0863)81-8029

13:30 追悼慰霊祭 法要(導師 岩崎増英住職) 献花・ご詠歌

14:30 強制連行の歴史を学び、後世に伝える集い

シンポジウム「中国人強制連行と岡山」

コーディネーター 林白耀さん(旅日華僑中日交流促進会 共同代表)

犠牲者遺族、中国紅十字会代表のお話

※参加無料

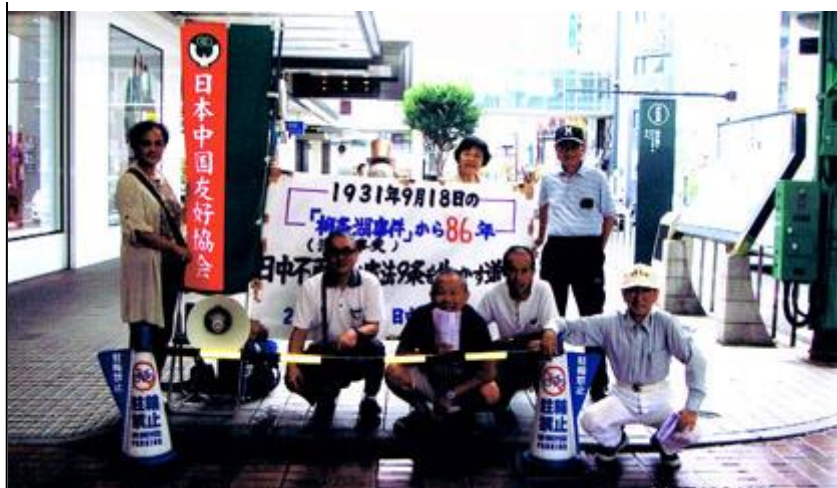
### 歓迎会

とき 2017年10月14日(土)18時から

ところ 中国四川料理又来軒岡山駅前店

岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル B1F TEL:(086)227-6655

会費 5,000円



話しかけてきたご婦人と犬飼さん

## 中国人殉難者追悼慰霊祭

実行委員会参加団体(順不同)

- \* 玉野市日中友好協会
- \* 日中仏教交流真和会
- \* 岡山県華僑華人総会
- \* 岡山県日中友好協会
- \* 倉敷市日中友好協会
- \* 井笠日中友好協会
- \* 新見市日中友好協会
- \* 日中友好協会岡山支部
- \* 日中友好協会倉敷支部
- \* 旅日華僑中日交流促進会
- \* 岡山地区中国人留学生学友会



# 中国東北部を訪ねて日中友好を促進する旅

四日目

犬飼 繁

中国東北部を訪ね日中友好を促進する旅「4日目の報告です。今日はハルビンの731部隊遺址と東北烈士纪念馆を訪ね、夕方から高速鉄道で長春に移動です。

731部隊については、細菌兵器を開発していたこと、中国人の捕虜をマルタと呼び、人体実験を行っていたことなど一応の知識は持っていたもの、実際に陳列館や施設を見ると胸に迫るものがありました。731部隊の中心的な役割を果たしていた者たちが、実験の情報を米軍に提供することによって戦犯としての

追求を免れ、戦後も厚生省や大病院で高い地位につき、日本の医学界に影響を持ち続けていたことなど、ここにも戦争責任をうやむやにしていた日本の悪しき伝統の一端をみる思いがしました。

東北烈士纪念馆では、5月にお話を伺った中国残留孤児2世の山中晴子さんの祖父、佐々木源吾さんが顕彰されているということでしたので、ぜひそれを確認したいと思っていました。青木先生と共に探し回ったのですが、どうしても見つけることができません。最後に 学芸員の方に聞いて

みよう」ということになり、通訳の方を通して訊いてみたところ、現在は展示されていないが、確かに佐々木源吾氏に関する物が資料室に保管されている」ということが確認できました。戦後も医師として八路軍に協力し、中国の多くの人々の命を救い、自らも病に倒れた佐々木源吾氏を顕彰する資料が今も保管されていることがわかって望外の喜びでした。ハルビン西駅から高速鉄道に乗り、長春まで約1時間10分でした。日本の新幹線よりも揺れが少ないと感じました。スピードも30

0キロ出ています。周りはトウモロコシ畑と水田がずっと続き、高層ビルが見えてきたなと思ったら、駅についていました。



## 「少林寺・陳家溝」を訪ねる

坪井あき子

中国！好久不見了！  
本当にお久しぶりの中国でした。6年前の、ノモンハン訪問以来ですから。そして中国行きは20回目です。

中国の文化・歴史・自然・そこに住む人々を私は大好きなんだと思います。政治家にはたくさん疑問や不満がありますが。

今回は、太極拳クラブの先生と生徒10人、9月15日から5日間の旅でした。  
上海経由で河南省の少林

寺と、太極拳発祥の地といわれる陳家溝、そして岡山市との友好都市洛陽をまわってきました。

少林寺というお寺は登封市の山すそにあります。広い墓域に代々の名僧の墓がそびえたっています。古いものは崩れ礎石だけ、最近亡くなった方の墓塔の下部のまわりの石には、パソコン、飛行機などの絵が刻まれていて、時代を反映していますね。

泊まったホテルは、少林寺

拳法の普及で財をなした人が建てたものです。そのあたりに拳法を習う子供、若者たち（女性も）が、3万人生活しているそうです。ビルの宿舎が果てしなく並んでいて、朝6時に外へ出てみると、グループ毎に列をつくってサッサッサッと走りぬけ練習場へ。ホテル前の広場もレベル毎のグループが熱心に練習しています。  
私たちのために、コーチが10歳前後の20人ほどのグループの「技」をみせてくれました。リーダーの子の号令で力強い型（といふのかな）が続きます。上手な子の個人技もみせてくれました。アスファルトに



直接、頭や手をおくので、痛くないのかな、と思ってしまう。ガイドさんの話では、家庭的に恵まれない子や、学校・勉強が嫌いな子などもここへきて、就職などの将来も保証されて、立ち直る子も多いそうです。

## 子どもの問いに響きあう

### 深い疑問」を生み出す教育をつくる

かせはお父さんの仕事。

○小学校低学年の教師の仕事は子どもを本好きにすること。

○一人あたりの本の貸し出し数が世界一。

○ナラティブ（語り合う）な学びをする。

こういう環境で育っている子どもたちに、点数によって順位をつけられる日本の子どもたちの競争を説明しても、理解してもらえないそう。なぜ他人と競うのかわからない。一年前の自分と今の自分を比べて、成長したことがわかれたいと思う。」と話してくれたそうです。

佐藤さんがもつとも伝えたことは、わかる」とはどのようなことか、それは自分の言葉で言語化できること。他者を認めること。どのように生きていくかを自分で決めることができること。また、その子どもたちには、その表現を受け止める他者がいることが重要です。

(真田)

そのフィンランドの教育の現状を紹介されました。

○順位をつけるテストは禁止されている。

○答えは文章で書かなくてはいけない。(言語化する)

○子どもたちの読み聞

次回の新聞送付作業は10月11日(水)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

葉川 林田 和 稲 小 小 曾 竹 内 内 竹